

第26回西日本事例発表オンライン研修会 発表概要シート

法人名	(株)長谷エシニアウエルデザイン	施設名	シニアハウス長居公園
発表タイトル	水光熱費を前年比10%削減する。		
研究の目的	スタッフの省エネに対する意識が低く、水光熱費の赤字になることが多い。水光熱費でどれだけ使われているか知らないスタッフが多い。		
発表の概要	水光熱費削減のためにルール作りを実施し、啓発活動を行った。 目標未達ではあったが、昨年比マイナス達成、スタッフへの意識付けなど、一定の成果を上げることができた。		
研究方法	・水光熱費についての伝達講習を行う。また、スタッフルームやリビング等エアコンを使用する場所に水光熱費削減の意識付けのためのポスターを掲示する。 ・昨年度と今年度の使用した水光熱費を比較したものを毎月掲示し、どれだけ使用したの可視化できるようにした。 ・エアコンの設定温度や使用する場所を決める。浴槽には八分目のところにテープを貼り、お湯はりの際に出しっぱなしにしないようにする。		
成果・結果	・浴槽にテープを貼り目印を作ることによって、お湯の出しっぱなしがなくなった。 ・電気代8月9月はマイナスにはなったが、10月気温の変化で、エアコンの設定温度が決められず、バラバラになってしまった。(電気代は-10%未達成) ・水光熱費をどれだけ使用しているのか、目に見える事でスタッフの意識付けができたと思う。 ・水道代は3か月トータル-25%達成できた。 ・水道代2か月-10%達成 ・電気代2か月マイナス達成 ・水道代+電気代3か月トータル-8.1%		
考察	・月々の水光熱費使用料のポスターを掲示したり、スタッフノートに記入し、細目に報告することでスタッフの意識付けを行う。 ・浴槽のテープも継続し、昨年と今年で変動があるため、一人当たりの水光熱費の削減定着を目指し節約を実施していく。 ・エアコンの温度設定など季節ごとのルールやチェック体制を確立し、電気代を削減していく。		
アピールポイント 伝えたいこと	・スタッフの意識改革（継続的な節約） ・ハウスの売り上げ貢献		

